

AYSEP 報告会

2025/4/18 福間隆杜

Day2 : Guka's Coffee

ナイロビ郊外のコーヒー農園を訪問。
コーヒーの製造過程、コーヒー農園で働く人の労働環境について学んだ。

- ・ **人件費がすごく安い**

コーヒー豆の収穫10KES/kg タンザニアより良いので多方面から出稼ぎの労働者が来ている

- ・ **自動化は難しいし必要もなさそう**

人件費安いのでメリットが少ない&雇用創出

採集



乾燥



精製



抽出・試飲



焙煎



選別



Day3 : Power Learn Project

エンジニア教育を行っている団体

- ・意外とモダンな教育をしている

Pythonとか、Goとか

情報技術は先進国からすぐ伝わってそう

- ・アフリカでIT教育をするなら、やはりPCの普及率は課題になりそう

貧困層はもちろん、大学生でも文系は持っていない人が一定数いる



Day3 : JHUB Africa

大学で現地の学生に事業案のプレゼンを行った

- ・ 現地の学生から事業案についてコメントをもらえた

ぜひ使ってみたいと言われた

ケニアの学生の就労事情について聞いた

日本のインターンシップのような仕組みはあまり整備されていなさそう



学生同士の交流会



現地学生の事業案説明

Day4 : Olkaria Geothermal Power Station

地熱発電所を見学

- ・ 日本企業がアフリカ社会にどのように貢献しているかを知った
三菱商事などが出資
- ・ アフリカ内で重工系の部品を内製するのはまだ難しそう
部品のメーカーはほとんど日本、欧州など外国産



地熱発電のタービン

Day4 : Hells Gate

野生動物の住む国立公園

- ・ アフリカ大陸の雄大さを実感
- ・ 日本人の想像する典型的な「ケニア」にはあまり人が住んでいない



Day5 : Davis&Shirliff Group

水関連製品を作る会社に訪問し、工場内を見学

- ・ **資本主義が解決できない問題をどう解決すべきか考えるきっかけになった**
サプライヤーが中国、競争相手も中国
価格競争で負けて苦勞しており、撤退した事業もある
このままだとケニアの製造業は発展しない



Day5 : Drone Space

ドローン教育とソリューション提供を行う企業

- ・ **先進的な制御をしていた**

地上局通信、衛星通信、画像情報を組み合わせた自己位置認識と自律制御

- ・ **ドローンの使用用途は日本と同じ**

インフラの点検、物流などに利用

一方で物流については日本はラストマイル、ケニアは都市間でドローンを使おうとしている気がする
ケニアは人も増えてて人件費も安いので、日本ほど無人化の圧力はかからないのでは？

- ・ **ハードウェアが外国製であることへの安全保障面の問題意識はなさそうだった**

使用されているドローンのメーカーは中国、欧州

日本やアメリカだと重要なテーマなのでギャップを感じた



Day6 : AAIC

アジアとアフリカで海外進出する日本企業のコンサルティングと投資支援を行っている会社

- ・ **インパクト投資はしていない**

インパクト投資はリターンが出ていないことへの言い訳？
AAICはしっかりリターンを見て投資している



Day6 : Final Presentation

一週間のケニア研修の内容を踏まえて、ケニアの起業家や官僚に対して事業案のプレゼン

- ・ **プレゼンの場慣れの必要性を感じた**

何を書いて何を喋るか

即興の英語で分かりやすく伝えるにはどうすべきか

- ・ **ケニア人ゲストからのコメント**

実際にプロダクト化してほしい

Samaのような搾取構造にならないようにしてほしい



その他

貴重な経験をたくさんしました



在ケニア日本人との食事会



ケニア人小学生との交流



トイレを貸してもらうために住宅に訪問



参加者同士での食事会